

## 音更町総合計画審議会会議結果（要旨）

会議名	音更町総合計画審議会 社会福祉部会（第3回）
開催日時	平成27年8月26日（水） 午後6時から午後7時15分
開催場所	音更町役場2階 第1・第2委員会室
委員出席者	河田部会長、増中部会長代理、市野委員、加藤委員、正保委員、中島委員、日向委員
事務局出席者	荒井町民生活部長、古田保健福祉部長、岸本町民課長、葛谷福祉課長、谷川保健センター事務長兼地域包括支援センター事務長兼保健課長、田村環境生活課長、石王木野支所長、樋田子ども福祉課長、重松高齢者福祉課長、傳法高齢者福祉課予防調整担当参事、渡辺企画課長、高田企画調整係主任
議題・諮問内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 部会長あいさつ</li> <li>2 会議の進行等について</li> <li>3 議件             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基本計画修正案について</li> <li>(2) 議員協議会での意見等について</li> <li>(3) 音更町人口ビジョンの考え方について</li> </ol> </li> <li>4 その他             <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回審議会の開催日程について</li> </ul> </li> </ol>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画見直しシート</li> <li>・総合計画審議会専門部会での意見等対応調書（社会福祉部会）</li> <li>・議員協議会での意見等対応調書（社会福祉部会）</li> <li>・音更町人口ビジョンの考え方、人口ビジョン・総合戦略の構成イメージ</li> </ul>
会議結果	下記のとおり
出された主な意見等	<p><b>■基本計画修正案について</b></p> <p>委員：「交通安全、防犯」の現状と課題で、「町内は帯広警察署が管轄する区域で、2交番、2駐在所」と記載され、「人口が増えてきたら交番などの設置が求められています。」とあるが、増える予定なのか。</p> <p>事務局：木野地区、宝来地区、あるいは鈴蘭地区が人口増で、木野交番の所轄する範囲がかなり広範囲に及んでいるということで、町からの要望ですぐにできるものではないが、機会があるごとにお話をさせていただいている。 特に宝来地区は、町が区画整理をしたという経過があり、中心部に町有地をとってあるが、郵便局も交番もない。今はなかなか新規は厳しいという国の状況もあるので、町としては、色々な機会を通じて要請をしているのが現状。</p> <p>委員：交番、駐在所の人員体制は変わったか。増えているか。</p> <p>事務局：駐在所はそこに住むが、交番は交代制で人数は変わっていないと思う。</p> <p>委員：交番をつくらないのであれば人員を増やしていただきたい。最近色々と物騒なので。</p> <p>部会長：そういう要請の仕方もあるのかもしれない。</p> <p><b>■議員協議会での意見等について</b></p> <p>委員：ごみ・し尿処理に関して、予定としては、だんだん32年度には減るといふことか。</p> <p>事務局：当然、ゴミはお金がかかる事業だが、町民の皆さんのご理解とご協力のもとに減らしていこうというのがゴミ処理基本計画の基本的な考え方。ただ、長い</p>

期間の推計数値であるため、現実とは多少の離れは出てきているが、基本的な考え方は変わっていない。皆さんにご理解とご協力を図るよう努力をしていくのと、台所のディスポーザー 家庭の台所から出る生ゴミを下水道に流すことが可能かどうかという研究も現在進めており、そういったものを含めて色々な方法で目標に向かって進んでいきたいと考えている。

委員：トン数が増えるということは、人口も増えていくと考えて目標数値を設定したのか。

事務局：当時時は、総合計画でも目標人口があり、それらを参考に作っている。

#### ■音更町人口ビジョンの考え方について

(事務局より資料に基づき説明)

委員：人口減少は自然と日本全国でも減るといのがわかる。音更町もそれに見合っただんだん減っていくと思うが、子どもを産んだときに少し奨励金を支給するという制度は無いのか。

事務局：自治体によっては祝い金がある。人口の少ないところではそういった施策が実際にあるが、音更の人口規模では難しい。公平に行き渡るようにしなければいけないので、音更の場合は何をしても巨額なお金がかかる。

委員：年間どのくらい生まれているのか。

事務局：360人位生まれているので、一人50万円としたら1億8千万円かかる。

委員：そういう奨励があってもいいのかと思う。

事務局：どういった施策にしていくかについては、総合戦略の中に入ってくる。

委員：お金がもらえるから子どもを産もうという考えはあまりないと思う。どちらかというと、結婚するときどこに住居を構えようか、就職して独立しようとしたときに、どこの町のアパートを借りようかとか、そういうときに選択するのではないかと思う。この町は子育てのために随分色々なサービスがされていて、今でいえば6年生まで学童があるとか、医療費が安いとか、若い世代が住む住居が多いとか、そういうことが町の戦略に合うかどうかはわからないが、住居、企業、不動産の誘致がされる、そういうところに、人口増の小さなきっかけがあるのかと思う。

事務局：今のような意見も踏まえ、総合戦略を作らなければならないと思っている。

※次回専門部会は9月下旬、日程は改めて調整するものとした。